

家々養生録

×

i 13



家々養生録

仙臺侍醫

岡本祐庵述

凡ソ婦人懷妊ノ中ハ靜ニ起靜ニ居氣ヲ鎮テ驚キ怒
 下無ラシメ平日聖賢ノ美言ヲ聞テ惡事惡色ヲ見ズ心
 フレテ亂ス丁ナケレハ其生ルク子忠孝賢明ニ福壽
 ヲ保ツ丁古今之書ニ見ヘタリ
 世舉善子賢者ヲ産ントシテ其法式ヲ守ラサルハ猶
 木ニ縁テ魚ヲ求ムルカ如キノミ今コニ禁戒ノ大概ヲ奉
 示ス夫庚申甲子大雷大地震大風大雨日月蝕スル
 時或ハ悲怒憂懼ノ日及ヒ大醉ノ時經水ノ節共ニ交
 合ヲ禁スベシ是レヲ侵寸ハ男女共ニ疾病ヲ生ズ善是
 日ニ於テ懷妊スレバ出生ノ兒必ズ宿病ヲ免カレズ其

490.9
Ie

No. 2023
13 | 13



1241

甚^{ハナクシ}キニ至^{イタ}リテハ成長ノ後種々ノ悪行ヲ為^{ナシ}テ父母ヲシテ憂^{ウレヒ}シム豈ソレ子タル者ノ罪ノミナランヤ人ハ乃チ小天^チ地ニシテ都テ天地ノ氣ニ感ス故ニ天地ニ變アルトキ交接スハ其身自^{ミカ}ラ疾病ノ端ヲ引出シ偶然懷妊スレハ出生ノ兒即チ其變氣ヲ稟テ五常ノ全備ヲ得ル^ト難シトス是ヲ以テ其性質ヤ僻ニメ悪ナリ蓋シ王公大人ハ其法式ニ依テ行ヒテフ故ニ聖賢ノ君王コレ多ク誕生シ玉^ヒ下賤ノ人々彼ノ自由自在自恣ナル^トノ過テ禁戒ヲ侵ス故ニ放蕩無頼或ハ頑愚或ハ奸邪ニメ正道ニ從ガハザル兒孫コレ多シ是^ニハ二心ヲ茲ニ用ユル寸ハ身體壯健ニシテ壽命長久且ツ福德アル善兒ヲ生スベシ^ト海ノ説ニ秀雅ナル山ノ麓ニ賢者ノ生スル多シトアリ是山ノ神靈ノ人ニ感ズルガ故ナリ

都テ聲耳音ハ耳ニ感ジ顔色ハ目ニ感シ馨香ハ鼻ニ感ズル之理ナレバ天氣晴朗ニシテ和氣暢然ノ時日ヲ擇テ交感スレバ善子ヲ得ル^ト疑^ナシ是即チ水ニ縁テ魚ヲ求ムト云ツヘシ

男女交接ノ道ハ貴賤ノ隔^ハナク子々孫々相續ノ基ナレバ一大要事ナリ然レ^モ過^ヒテ適^ト宜^クヲ得サレハ反テ疾病ヲ生ジ或ハ壽命ヲ損ス故ニ古人ソノ交接ノ度数ヲ年齡ニ依テ定メタル^トアリ左ニ録ス

凡ソ男子

- 廿歲以上 一ヶ月二拾二二度
- 廿歲以上 一ヶ月二六七度
- 四拾歲以上 一ヶ月二三四度

五拾歳以上

一ヶ月ニ一二度

六拾歳以上

一ヶ月ニ一一度

右ノ度数ハ常人ノ心得ナルヘシ天稟壯健ニシテ無病ナル人ハ其度数ヲ増テ可ナルヘク柔弱多病ノ人ハ度数ヲ減スルヲ可ナリトス

婦人懷孕ニ三ヶ月ニメ惡阻ヲ患フルヤ拾人ニシテ七八人アリ其時ニ臨テ藥セザレハ大病ニ至ルヤアリ世症ハ變味ヲ好ムモノナリ然レモ番樹ナシ白芥子カ生薑シハ食セシムベカラズ或ハ流産或ハ胎毒ノ患ヲ引ヒバナリ

凡ソ婦人産前産後ハ殊ニ嫉妬ノ情ヲ發スベカラズ怒リ憂フル丁ヲ禁ズ然ラザレハ或ハ心氣鬱結シ或ハ血暈痼症等ノ患ヲ引出シ其出生ノ兒モ其氣質ヲ稟得テ生ズ故ニ人父

母タル者諸事ヲ謹シマズンバアルベカラズト古老ノ説話ヲ

聞ケリ

一 妊娠シテ五ヶ月以上ハ交合ヲ禁スルヲ要トス如何トナレハ或ハ難産ノ患アレハナリ若シ其患ナキオハ出生小兒胎毒多ク發シ或ハ驚痲ノ患ヲ免カレズ

一 妊娠五ヶ月以上ハ坐卧行歩ニ心ヲ用ユヘシ偶ヒ顛仆クニレテ腰腹ヲ搏寸ハ重ケレハ子痲或ハ流産ヲ患ヒ輕ケレハ胎動甚シク次テ諸病ヲ叢ス若シ顛仆ノ一マラハ早ク醫者ヲ産婆ヲ招キ按腹藥用スヘシ

一 妊娠五ヶ月以上ハ遠路ヲ步行シ或ハ重キ物ヲ荷ヒ推シ乃ハカラス後患アレハナリ身ヲ少シクモ動カサル是モ亦アシトス其中ヲ執ヘシ

一 妊娠中ノ水腫、更ニ産後ノ水腫トナルナリ、僅ノ水氣アラハ藥ヲ服シ禁戒ヲ守ルニシ、産後ノ水腫ハ治シカタキ者ナレバヤリ

一 妊娠五ヶ月以上著帯スルハ腹中ニ締アリテ坐卧共ニ胎ニ障ナキカ爲ナリ、然ル寸ハ婦人常用元帶ノ如ニ幅廣シテ腰腹ヲ巻ソノ端ヲ必結ヘカラス挿置ヘシ細ク折テ緊シク結ハ氣血不順ニナリ小便モ不利シテ水腫ノ端ヲ及段キ其他サワリアリ臨産ノ時ハ細シテ心下ノ邊ヲ結ヘシ夫鳥獸ノ如キ帶セズト云尼却テ人ヨリモ安産セリ

一 産後ハ廿一日或ハ三十日間ハ藥用ヲ懈ヘカラス若惡露久シク不止或ハ衰弱シ其他疾患アル寸ハ百日モ一年モ藥用保養スヘシ如何トナレハ小兒ヲ産ハ其身ヲ半バツ

カ如シ然レハ其平常ニ復スルヲ數日保養用心上ニ在下ヲ知ヘシ三拾歳以上ノ婦人ハ猶更ニ心ヲ用ユヘシ

一 産後百日ノ間ハ浴湯ニ入ヘカラス灰水ニ手足ヲ浸ヘカラス大ヒニ働クヘカラス遠路ノ歩行或ハ交合ノ道モ同段ナルヘシ其百日ヲ過ルト云尼身體之不健寸ハ禁戒ヲ守ルニ

一 産後乳汁不豆ナルハ藥用保養ノカヲ以テ乳汁出ルナリ然レモ或ハ怒リ或ハ悲ミ憂フルヲ有レハ乳汁不豆スル者ナリ舉家心ヲ用ユヘシトス

一 小兒出生即チ浴湯ヲサレ内ニ早ク口中ノ惡物ヲ新シキ綿ヲ指ノ先ニ巻付テ拭ヒ去ルヲ妙トス

一 小兒出生後即チ胎毒拂ヲ頻ニ進メ吐瀉セシメ十二時或ハ廿四時過テ乳ヲ進ムヘシ時刻ノミ久シク過ルト云尼吐

浮セサレハ時刻ヲ過^スカルト同シ故ニマクリヲ出精^ミ子
用エハシ素ヨリ産婦ノ新乳自然ニ出ルヲ定規トナシテ進
ムルヲ善トス必他ノ乳ヲ禁ス然レモ乳汁出サル婦人此例ニ
依リカタシ

一臍帶落テ後其臍爛テ水ノ出ル小兒ハ浴湯セシムヘカラズ
臍ヨリ水入レハ重病ト成テ治シカタシ常例ノ浴湯ハ始

メヨリ熱キハアシ

一胞衣ハ人ノ通行セサル處ニ三尺以上エラ塚ニ或ハ瓦器或ハ箱
ノ類ニ入レ納メロヲ封シ埋ムヘシ右ニ反スレハ不宜猶埋ムヘキ方
角ヲモ占ナニ撰フヘシトス

一予數年之間卑賤ノ婦人多産ニシテ弟^ト近^キ聞スルニ母
子共ニ艱難セリ小兒ハ早ク乳ニ離ルヲ以テ諸病蜂起^ス或

ハ懷妊中ノ乳ヲ飲シメ母ノ病ヲ患ヒ婦人ハ多産ノユヘニ

身體ノ疲勞ヨリシテ諸病ヲ發ス就中哀ムヘキハ毒

藥毒物ヲ以テ流産ヲ希子カニ或ハ私力ニ墮胎術ヲ

行ナツテ難治ノ病ヲ患ヒ或ハ鬼録ニ上ル者其數ヲ知ル

カラズ豈哀シムヘキノ甚ニ悲ズヤ予或^ル時識者ニ逢フ此

一條ヲ説話^ケレバ識者予ガ學術ノ不逮^ヲ憐^テ秘法ヲ示セ

リ此ヲ以テ同志ノ人ニ教ユル寸ハ其艱難ヲ免カルヘシトナリ

抑^ル其法ヤ懷孕スル^トヲ欲セサル寸ハ三年モ五年モ十年

モ懷胎スル^トナシ又懷胎セント思フ寸ハ忽チ懷妊シ且^ツ

子ヲ求メント欲スレハ即チ男ヲ得又女子ヲ産^ムント欲スレ

ハ即チ女子ヲ産ル、妙法ナリ其法或^チ知ル者鮮キユヘ

天下幾萬ノ婦人ソノ憂ニカクル者勝^テ數^フヘカラス

婦人ノ年齢ニ隨テ懷胎スル定マレル月ト定マレ
 ル日アリ必シモ毎月毎日懷胎スル者ニ非サルナ
 リ彼ノ鳥獸ノ交合スル其時アルヲ見テモ之ヲ察ス
 故ニ其定月ト定日トヲ知ノ法左ノ如シ

一婦人十六歲十九歲 廿二歲 廿五歲 廿八歲 卅

一歲 卅四歲 卅七歲 四十歲 四十二歲 四十六歲

右ノ年齢ノ婦人ハ定月定日左ノ如シ

正月 三日 十日 十三日 廿三日

四月 八日 十一日 廿八日

七月 六日 十日 十八日 廿八日

十月 五日 十日 十者 廿日 廿五日

右ノ年齢ノ婦人ハ右ノ定月定日ヲ懷胎日トス

一婦人十四歲十七歲 廿歲 廿三歲 廿六歲 廿九歲 卅二歲

一卅五歲 卅八歲 四十一歲 四十四歲 四十七歲

右ノ年齢ノ婦人ハ定月定日左ノ如シ

二月 六日 十六日 廿六日

五月 五日 十五日 廿五日

八月 五日 十日 十二日 廿二日

十一月 五日 十日 十二日 廿三日

一婦人十五歲十八歲 廿一歲 廿四歲 廿七歲 卅歲 卅三歲

卅六歲 卅九歲 四十二歲 四十五歲 四十八歲

右ノ年齢ノ婦人ハ定月定日左ノ如シ

三月 三日 十日 十三日 廿三日

六月 三日 十日 十三日 廿三日

九月 八日 十八日 廿八日

十月 六日 十六日 廿六日

右ノ歳ノ女ハ右ノ定月定日ヲ懐胎日トス

一求嗣ノ人々右ノ定月定日ニ臨テ庚申等ノ日アラバ

交合ヲ禁スヘキナリ或ハ經水中或ハ病中モ同段ノ心

得ナルヘシ

一求嗣ノ人々男子或ハ女子ヲ得シテ望ム寸ハ末ニ記ス

所ノ婦人ノ年齢ヲ考テ交接ヲ行ナラヘシ男女ノ隔テナク

求允人ハ其月其日ヲ怠タルコトナカレ

一懐胎シ難キ婦人ハ定月定日ニ交合スト云凡大ニニ感スル

ニ非レハ其シルシ少ナシトス一タニ交接シテ能感セスハ再

三スヘシ平素感シ難キ婦人ハ探宮ノ術ヲ行テ尚後

交合スヘシ人體ノ不同亦其顔色ノ如シ

一多産ヲ好マサル人々右ノ定月定日ヲ避ヘシト云右ニ記ス如ク

定マシル月ト日アリト云凡性ニ依テ期信止テ後六日ノ間ニ交

感スレハ其月其日ニ非スト云凡懷孕スル婦人モアルシ又其月

其日ニ當テ交感スレハ總令月水ナシト云凡亦懐妊スル婦

人モアルヘシソノ懐胎ノ月日ニ非スト云凡經水止テ後五六日

ノ間ニ交合セサレハ懐胎ノ患ニ鮮ナシ故ニ多産ヲ好マサル

婦人ハ其月々ニ於テ經水中ノ日ヲ合テ十二三日ニ交接スヘカラ

トス又求嗣ノ人々ハ其月其日ヲ待得テ謹テ行ナラヘシト云

婦人ノ年齢ニ依テ男兒ト女子ヲ産了コト知ル法

一十五歳十七歳十九歳廿三歳廿五歳廿六歳廿七歳

一廿八歳廿二歳廿六歳卅八歳四十二歳

右ノ年齢ノ婦人ハ一年子ナレハ女子ヲ産二年子ナ

レハ男子ヲ産ナリ

一年子ト云ハ其年ニ妊娠シテ其年内ニ産ムコトヲ

年子ト云ナリ二年子ト云ハ前年懷孕シテ翌年ニ産

ムルナリ免ヲ求ムル人々能ク考フヘシ

一十四歳十六歳十八歳廿歳廿二歳廿四歳廿九歳

卅歳卅二歳卅四歳卅五歳卅七歳卅九歳四十一歳

四十二歳四十三歳四十四歳

右ノ年齢ノ婦人ハ一年子ナレハ男子二年子ヲ産

右記ス如ク男子女子ノ胎ヲ受ルテ天地自然ノ理

ト見ヘタリ然レモ右ニ記ス所ニ差アリテ男子ヲ産ヘ

キ年ニ女子ヲ産女子ヲ産ヘキ年ニ男子ヲ産ムトアリ

如斯ク男女ニ差アル寸ハ此ヲ逆子ト稱ヘリ母子ノ内ニ患ヒ

アリトス更ニ障リナキ者モ亦アリ理ヲ以テ論シ難キト

モアルナリ

一又一説アリ其月其日ニ拘ハラズ月水止テ後一日目二日目五日

目ノ夜ノ九ツ時ニ交感スルハ男子ヲ胎ム又二日目四日目六日

目ノ夜ノ九ツ時前ニ交感スルハ女子ヲ胎ムト云説モアリ參

考スヘシ

一生涯懐胎セサル婦人アリ之石婦ト云又男子ニ毛子種無

キ者アリ之ヲ黄門ト云ヘリ其論ノ如キハ此ニ贅セズ

一閏月ノアル年ニ懐胎スル定月定日或ハ五日或ハ十日或

ハ進ミ或ハ後ル、トアリ是レ節氣ノ進ムト後ルトニ從テ
經水ニモ進ミ後ル、トアリ更ニ性質上ニ異同アル故ナリ
然レ厄嗣ヲ求ムル人々前後ノ説ヲ守テ過テ無ニ逆カラシ
云ノミ

一妊娠中ノ禁忌已心ノ食物ハ産後ヨリモ大切ナリ食物
アシケレハ其惡物ノ氣ニ感シテ生ル子或不具不正或ハ
淫亂或遺毒胎毒或ハ夭ス故ニ其惡物ノ大概ヲ左ニ誌
ス 妊娠中大ニ惡シキ品々

- 一 雞肉 雞子 兔肉 鮫魚肉 雀 蠐 生姜 番薯
 - 白芥子 諸菌 海老 赤飯 草蓆 南瓜 蕨
 - 輪切大根 酢
- 右ハ第一アシケトス

産後ノ禁忌ハ醫者ニ問ヘシ

家々養生録畢

21
A

